

各委員会は議会の閉会中も委員会を開催し、所管事務について協議しています。

施設内は、担当部署と社会福祉協議会など

福祉行政サービスの総合施設として、各種保健・検診事業などを実施。認定心理士や保育士、コーディネーターによる発達支援、相談業務も行い、また、施設内には社会福祉協議会が入り、デイサービスの食事提供や子ども料理教室など各種事業連携を行っており、福祉活動の拠点として町民の総意により設置された施設であると感じた。

幕別町保健福祉センター

産業福祉常任委員会

8月26日～28日 幕別町保健福祉センター、南幌町保健福祉総合センター、長沼町食のブランドづくり、旭川市林産試験場の4カ所の行政視察を行いました。

ワンフロアーにあり、検診や各種相談など気軽に利用でき、福祉事業の情報共有の面でもメリットがある。施設内に検診車が入り受診できる施設、多目的ホール、陶芸室、調理実習室、公衆浴場も備える複合施設で、高齢者から乳幼児まで幅広く利用できる町民生きがいくつくりの拠点となっている。



広く開放的な1階ホール

長沼町食のブランドづくり

地元農作物と食の価値を高め、町のイメージアップを図るため「食のブランドづくり推進室」を設けて専任職員を配置。消費拡大と販売促進用の統一ロゴマークの作成、専門機関と連携した食品加工技術や表示制度の相談、地産地消推進店を認定し、資材提供や情報発信の手助けを行うなど、積極的に事業展開している。

総務文教常任委員会

- 第7回(10月22日)
 - ・ごみ収集日の変更について
 - ・総務文教常任委員会道内行政視察について
- 第8回(11月12日)
 - ・町内視察結果について
- 第9回(12月3日)
 - ・二水郷行政視察結果に基づく中学生相互交流実施方針(案)について
 - ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について
 - ・土地開発基金条例の一部改正について
 - ・財産の無償貸付について(旧活汲小学校校舎)
 - ・町税条例の一部を改正する条例の一部改正について
 - ・特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
 - ・使用料条例の一部改正について

産業福祉常任委員会

第7回(11月12日)

- ・町内視察結果について
- ・公の施設に係る指定管理者の指定について

第8回(12月4日)

- ・国営農地再編整備事業について
- ・起業等振興促進条例の一部改正について
- ・新ふるさと定住促進条例の一部改正について
- ・手数料徴収条例の一部改正について
- ・養護老人ホーム入所判定委員会設置条例の制定について
- ・介護保険条例の一部改正について

議会運営委員会

第10回(12月11日)

- ・第8回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて
- ・会議規則、傍聴規則の一部改正について

議会広報特別委員会

第15回(1月14日)

- ・議会報157号の編集について

町長行政報告

報告された主な事項 第8回定例会 (12月17日)

- 防災研修 ■認定ことも園新園長就任 ■プレミアム付商品券の再販売
- 台風23号 ■町民テニスコート改修要請 ■福祉灯油 ■国営農地再編整備事業 ■道道津別陸別線の携帯電話不感地帯の解消 ■津別町創生総合戦略 ■船舶・津別青少年交流協会設立10周年記念事業に係る交換植樹
- 新ふるさと定住促進事業等の継続と拡充の要望
- 北海道社会貢献賞の受賞 ■津別町総合教育会議 ■二水郷との中学生相互交流に向けた行政視察 ■北海道日本ハムファイターズ市町村応援大使 ■津別消防団100年記念事業 ■地域おこし協力隊 ■ふるさと納税
- 丸玉産業株式会社からの寄附 ■まちづくり懇談会 ■自衛官等の募集業務 ■農業機械の大型化に対する町道及び林道の整備 ■北海道地域住宅協議会公的賃貸住宅団地表彰(北の地域住宅賞)

議会日誌

10月

- 20日 北網ブロック町議会議員研修会（大空町）
- 22日 第7回総務文教常任委員会
- 28日 オホーツク圏活性化期成会秋季要望（札幌市）
- 29日 第2回決算審査特別委員会
- 31日 東京つべつ会総会（東京都）

11月

- 6日 オホーツク町村議会議長会役員会（遠軽町）
- 9日 北網ブロック市・町議会正副議長会議（網走市）
- 11日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 12日 第8回総務文教常任委員会
第7回産業福祉常任委員会

12月

- 3日 第9回総務文教常任委員会
- 4日 第8回産業福祉常任委員会
- 11日 第10回議会運営委員会
- 17～18日 第8回津別町議会定例会

1月

- 14日 第15回議会広報特別委員会

総務文教常任委員会協議内容

○二水郷行政視察結果に基づく中学生相互交流実施方針（案）について

12月3日に開催された第9回の総務文教常任委員会において、総務課より11月13日から17日にかけて二水郷との中学生相互交流の打ち合わせを兼ねて行った行政視察の報告があり、具体的な実施方針の内容説明を受けました。

順調に進めば平成28年の夏に二水郷の教育関係者が津別町を訪れ、最終的な視察・打合せを行い、平成29年1月に、津別町から第1回目の生徒を送り出す予定であり、参加生徒数は4～6名、行程は4泊5日、対象学年は1・2年生、交流のメニューは、言葉の障壁がない数学、音楽、体育等の授業への参加、史跡名所等の訪問、産業施設見学等を行うという説明に対し、委員（議員）側から、「保護者に対するの説明会を開き、理解を得るべきだ」「せっかく交流するのだから、もう少し人数は増やせないのか」「日程は、きつくないのか」「移動に日にちを取られるので、もう少し日程を増やしてはどうか」「経済的な負担はどうなるのか」などの意見が出され、総務課から、「今後、学校現場で、生徒、教職員、保護者にどのように伝え理解を得ていくか協議したい」「人数を増やすためには、通訳の確保が必要」「日程について、現段階ではこのような形で一步踏み込ませてほしい」「旅費は訪問する自治体が負担、滞在費用は受け入れ自治体の負担」といった答弁がありました。全議員による共通理解とするために、全員協議会を開催し、説明を受けることになりました。



台湾二水郷の彰化県立二水国民中学校

意見書

関係行政庁へ
提出しました

- 子どもの医療費無料化と国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティ廃止を求める意見書
- TPP「合意」内容の徹底した情報公開と検証を求める意見書

は ぐ る ま

「は ぐ る ま」
 昨今、地方を取り巻く情勢は、年々厳しさを増す状況になってきています。本町も少子高齢化と共に、年々人口減少が目立ってきているのが現状です。このことを考えると、これから町づくりを進めていくうえにおいては、いろいろな面で十分踏まえ進めていくことが大事なことで強く思うところですが、それだけに、議会としても長期総合計画や行政改革に積極的に携わり、できるだけ町づくりに知恵を絞り、各政策の審議を行っていかなくてはならない時だとも思っています。

また、さらにこれからは、行政と議会が町の全てにおいて、危機感を持ち進めていかななくてはならないと感じています。今後は、議会に課せられた重責をより認識し、議会改革を進めながらこの町が未来永劫に引き継がれていくよう努めてまいりますので、どうか町民の皆さま方においては議会に対して、これからも一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

（白馬）

歯 車